

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第2回 相模原市下水道事業審議会				
事務局 (担当課)		下水道経営課 電話042-707-1840(直通)				
開催日時		令和元年11月11日(月) 午前10時~12時10分				
開催場所		相模原市立環境情報センター 2階 学習室				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	12人(下水道部長、下水道経営課長、下水道料金課長、下水道保全課長、下水道整備課長、津久井下水道事務所長 他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会  2 議題 (1) 第2次相模原市下水道ビジョンの策定について (2) その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 議題

#### ( 1 ) 第 2 次相模原市下水道ビジョンの策定について

<事務局から第2次相模原市下水道ビジョン(案)<概要版>及び資料2、現行ビジョンのまとめについて説明を行った後、事前に委員に配布していた新ビジョンの【未定稿素案】の内容も含めて質疑応答が行われた>

#### ( 第 1 章 策定にあたって )

効率的・効果的な事業運営を行なうためにはA Iなどの先進技術を活用することが必要であり、新ビジョンにも取り入れるべきではないか。

具体的な記載はないが、策定の基本的視点「新しい取組に挑戦する視点」の中で想定しており、各施策を進めるうえで積極的に取り入れるべきものと考えている。

下水道施設は地下にあるものであることに加えて老朽化が課題となっている。国なども先進技術を用いた検査方法などの研究を進めており、老朽管きょ等の状態の検査を効率的・効果的に進めるため、本市においてもA IやI T等の先進技術については積極的に取り入れていきたい。

#### ( 第 2 章 下水道の概要 )

- 「生活排水処理率」や「下水道普及率」など、汚水処理の状況を表す指標名にばらつきがある。

「生活排水処理率」は、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽の3つを合わせた処理率であり、公共下水道のみの処理率と区別してこのように表記しているが、理解しやすいよう、用語解説等で整理していく。

(第3章 下水道事業の現状と課題)

- 市民としては、内水であれ外水が要因であれ、大雨の際に浸水被害に遭いたくない気持ちがある。外水についても県等と共同して対策を進めてほしい。

現在、洪水ハザードマップの改定を進めており、洪水（外水）と内水を含めた内容となっているが、旧ビジョンの進捗状況という観点から、この章においては浸水（内水）ハザードマップの作成という表現に留めたい。

- 本市は分流化を進めているが、都市型水害で河川が氾濫水位目前になった際にマンホールから下水が噴き出したり、逆流したりするなどの現象が懸念される。これらについての対策についても盛り込んで頂きたい。

重点施策 「総合的な浸水対策の推進」の中に取組を位置付けており、過去に浸水被害のあった場所を中心に対策を進めている。

- 今回の台風（19号）を機にハザードマップを見たがわかりにくく、具体的にどのように行動すべきかが読み取れなかった。道路冠水、内水氾濫、アンダーパスの有無などについても情報が欲しい。

市民の声等でも同様のご指摘をいただいております。今後の改定等にあたってはわかりやすい表記を検討していきたい。また、道路の通行止めや危険が想定される区域等については市ホームページ等にてお知らせしているの確認をお願いしたい。

- 旧ビジョンの【施策3】に、「公共下水道の人口普及率は約55%といまだに低い状況にあるため、市設置浄化槽など、最適な汚水処理方法による整備を進めます。」とあるが、因果関係が成り立っていない。

お見込みのとおりであり、文章を修正させていただきます。

- 旧ビジョンの【施策8】について、電力消費量の削減の取組みとして、LED照明など省エネタイプの設備の導入とあるが、太陽光などの自然エネルギーの利用など、もう少し踏み込んだ取組内容を記載することができるのではないかと。

お見込みのとおりであるが、旧ビジョンの進捗状況という観点から実績のみを記載させていただいている。

- SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」も下水道分野に関連するのではないか。

お見込みのとおりである。この他のゴールについても下水道分野に関連するターゲットが含まれているかを確認し、取り入れたい。

#### (第4章 基本理念と基本方針及び施策体系)

- 基本方針2について、管きよの老朽化や下水処理場の老朽化(改築)も大きな課題であり、特に本市の汚水処理量は流域下水道の33%を占めているので、下水処理場の問題について新ビジョンにもっと記載すべきではないか。

処理場に関しては、流域下水道管理運営負担金について経営戦略における今後の視点に記載しているが、今後の改築・更新などへの関わりなどについては、経営健全化・効率化の具体的取組として位置付けたいと考えている。

#### (第6章 経営戦略)

- 経常収支比率や経費回収率などについて現状分析を行なっているが、市民には読み取りづらい表やグラフ、文言が使われており、本市下水道事業の具体的な状況がわからない。

ビジュアル面を工夫するなど、わかりやすい記載方法を検討させていただく。

- 個々のグラフや図について、明確な分析ができていない。示している数値の意味や、その数値が導き出されている背景等についても記載すべきではないか。

明確に示しづらいものもあるが、理解して頂けるような表記を検討したい。

- 「分析から見た今後の視点」について、各項目の分析が的確に行われていないため、一部が経営指標による分析結果と乖離した内容となっている。

お見込みのとおりであり、内容を再度検討したい。

- 民間活力の活用とあるが、具体的にはどのようなことを想定しているのか。

本市は下水処理場がないのでポンプ場の維持管理などが考えられる。また、民間技術の導入により、職員数の減少にも対応できるものとする。

(その他)

大雨が降ると不明水が7倍になる地域がある。雨水にも負担金をとるべきではないか。雨水の浸透しやすい田畑は0円、建物が建っていると雨水の浸透が妨げられるため、建ぺい率によって料金を決める等、検討して頂きたい。

外水についての話なので県に伝えてほしいのだが、台風19号の際、接続河川の水位は決壊目前であったのにも関わらず、城山ダムが緊急放流を行なった。事前に大雨が降ることが分かっていたのであるから、事前に計画的に事前放流を行ない、ダムの水位を下げておくように出来たはずであり、今後は対策をしていただきたい。

河川の深さを深くすること(浚渫)も前述についての一つアイデアである。

2 その他

質疑なし

以 上

## 相模原市下水道事業審議会専門部会委員名簿

	氏 名	所 属 等	出 欠 席	備 考
1	おちあい かつじ 落合 勝司	相模原市自治会連合会（緑区）	出席	
2	たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会(中央区)	出席	
3	もり いつお 森 逸雄	相模原市自治会連合会（南区）	欠席	
4	おちあい ゆきお 落合 幸男	相模原市農業協同組合	欠席	
5	おおの のりお 大野 則夫	相模原商工会議所	出席	副会長
6	はやし かよこ 林 加代子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	出席	
7	たくち めぐみ 田口 めぐみ	さがみはら消費者の会	欠席	
8	あさみ よしひさ 浅見 佳寿	相模原の環境をよくする会	出席	
9	かわしま ゆみこ 川島 由美子	公益財団法人 神奈川県下水道公社	出席	
10	にしかわ まさし 西川 雅史	青山学院大学経済学部教授	出席	会 長
11	ひろた はるあき 広田 啓朗	武蔵大学経済学部教授	出席	
12	きし とおる 岸 徹	岸公認会計士事務所	出席	
13	しのはら なおひこ 篠原 直彦	公募委員	出席	
14	すだ おさむ 須田 理	公募委員	出席	
15	もりや としひこ 守屋 俊彦	公募委員	出席	